

連合長崎第46回地方委員会を開催！

「私たちが未来を変える！すべての労働者の 「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！」



〈次期衆議院選挙候補予定者〉

1区

国民民主党
西岡 秀子氏



2区

立憲民主党
松平 浩一氏



3区

立憲民主党
山田 勝彦氏



4区

国民民主党
末次 精一氏



連合長崎は2020年2月26日(水)14時から長崎県勤労福祉会館において第46回地方委員会を開催しました。冒頭、宮崎会長から「2020春季生活闘争について」「政治活動について」「連合長崎結成30周年に向けた取り組みについて」のあいさつ(別記)がありました。

その後、各政党と労働福祉団体からご挨拶をいただき、一般活動経過報告が満場一致で承認され、第1号議案「2020春季生活闘争方針」、第2号議案「連合長崎組織拡大方針」、第3号議案「連合長崎結成30周年記念行事」、第4号議案「政治活動の取り組みについて」、第5号議案「連合長崎役員の交代について」が承認されました。

また、本年10月に予定されている波佐見町議会議員選挙と次期衆議院選挙の連合長崎推薦候補予定者から、それぞれ決意表明をいただき、スローガン、アピールを確認し、宮崎会長のガンバロー三唱で閉会しました。

地方委員会終了後は、「学習会」を開催し、講師として連合本部総合政策推進局の井村総局長をお呼びし、「SDGsと連合の取り組み」をテーマに講演をいただきました。SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み目標は、生活者・働く者すべての人々が取り組んでいくことが重要であること、連合として春闘をはじめとする労働組合の運動・政策の取り組みとの関わり等について学びました。

宮崎会長あいさつ



地方委員会の主な議題に関連して、大きく3点について申し上げます。

◆2020春季生活闘争について

今年の特徴は、2014年から勝ち取っている賃金引き上げの流れを継続するとともに、「底上げ」「底支え」「格差是正」の目的や要求の考え方を再定義したうえで、広く社会全体に促すとともに、企業内で働くすべての労働者のセーフティネットを強化すること、加えて、中小組合や有期・短時間・契約等で働く人たちの賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げていく、つまり、連合組織内はもとより、すべての働く人たちの処遇改善につなげていく、「みんなの春闘」をめざしていくというものです。

二つ目の特徴は、「分配構造の転換につながる賃上げ」をめざすことです。企業が出した儲けが、株主配当や、役員報酬には分配されていますが、労働者にはその分配が届いていない、この構造を変えようというものです。今年の賃上げを通じてこの分配構造の転換につながらせることが二つ目の特徴です。

三つ目は、新型コロナウイルスの影響で、社会経済に大きく影響してくることも想定されています。それが春闘交渉への逆風になりかねません。消費を刺激していくためには、内需の6割を占める個人消費を高めていくしかありません。そのためには、賃金引き上げが必要です。これまでの戦い方とは趣が異なりますが、それだけ社会的役割を持った戦いであるとの認識と覚悟をもって戦い抜きたいと思えます。

春季生活闘争のもう一つの柱である働き方改革に伴う長時間労働の是正については、今年4月から、罰則付きの労働時間の上限規制の中小企業へ適用開始、同一労働同一賃金に関わる改正労働者派遣法等が施行されます。各組織においては、法改正の趣旨等を十分踏まえ、労使間での交渉を強化するとともに、組織内外への周知等に努めていただきたい。

◆政治活動について

昨年末に政党を通じて推薦願いが出された次期衆議院議員選挙における1区から4区の予定候補者の扱いについては、各構成組織、地協等において組織内討議をお願いし、意見を集約しました。出された意見等を踏まえ、「安倍一強を崩し、私たちの政策・制度の実現のためにも早期の体制確立が不可欠である」ことから、政策協定の締結を前提に、1区「西岡秀子」さん、2区「松平浩一」さん、3区「山田勝彦」さん、4区「末次精一」さんを推薦することを確認したところです。政党及び候補者への要望等については、これまでも提起してきましたが、本日の委員会での確認等を踏まえ、あらため

て政党及び候補者に提起していくこととします。安倍一強政治がこのまま続くことになれば、私たちの雇用や生活、さらには子供や孫たちの将来はとんでもないことになってしまう。何としても今の政治を変える、との認識を共有したうえで、連合長崎として推薦する以上は、必ず勝つ、その決意と覚悟を含めて固めあいしたいと思います。

また、国政選挙を戦うにあたっての大きなハンディは、地方議員が少ないということです。したがって、今年10月に予定されている波佐見町議選における「横山聖代」さんの2期目の闘いに全力で取り組むことと合わせ、来年以降施行される中間自治体選挙に対して、維持拡大を基本に、いわゆる空白区対策を含め、各政党、地協、ブロック、構成組織と連携しながら、一つひとつの選挙を丁寧に取り組んでいきたいと思えます。

◆連合長崎結成30周年に向けた取り組みについて

連合長崎は、本年5月24日で結成から30年という大きな節目を迎えます。

顔合わせ、心合わせ、力合わせをスローガンに掲げ、歴史も、文化も価値観も様々に異なる労働組合が一つの旗のもとに結集し、すべての働く人たちの幸せのために活動してきました。とはいえ、この間の諸先輩の皆さんの努力は、並大抵のことではなかったと思えますし、私たちの想像をはるかに超えるものがあつたと推察します。そして幾多の課題を乗り越え、今があります。グローバル化の進展や技術革新、ニーズの多様化、雇用形態の多様化をはじめ、働く環境も大きく変わってきていますし、それにあわせて、労働組合の果たすべき役割や活動範囲なども常に考えていかなければなりません。

その際、私たち連合長崎の活動の原点は、「職場現場、そして組合員である」ことを再確認したいと思えます。「一人ひとりの働く人はとても弱い」ものです。病気や事故は不意に襲ってきますし、介護や育児など働くことを最優先にできない場面は人生に幾つもあります。ですから、連合長崎が組合員・家族の幸せのために活動していくことはもちろんですが、連合長崎5万人の組合員の力を、労働組合に入りたくても入れない、労働組合すらない働く仲間の幸せのために活動していく、つまり、すべての働く人たちの幸せのために、連合長崎の果たすべき役割と責任があるのではないかと、感じています。

結びに、これだけ激動する時代にあつて、前例が通用しないケースが次々とでてきています。だからこそ連合長崎の組織の強化、一体感の醸成に向け、本音での対話をベースに、互いの信頼関係を築きあげていきたいと思えます。

そしてその先に、様々な課題に対して大胆にチャレンジしながら、連合長崎が組合員からも県民、市民からも信頼され、頼りにされる組織づくりをめざしましょう。

連合長崎・連合長崎地協 2020年新年交歓会を開催 ～すべての働く人たちの安心社会に向けて～



連合長崎と連合長崎地協は、共催で1月7日(火)18時30分から長崎市の「ホテルニュー長崎」において「2020年新年交歓会」を開催しました。当日は、県議、市議、町議、友好団体等の来賓の皆様、構成組織役員の参加者を含め230人が参集する盛大な新年交歓会となりました。

冒頭、宮崎会長は、①今年は被爆後75年の大きな節目を迎える。また、5年に一度のNPT再検討会議も開催される。被爆地長崎に働く者として、核兵器廃絶と戦争のない平和な社会の実現に向けて、世界に大きなメッセージを発信していく、②今年は、連合長崎結成から30年の節目を迎える。私たちを取り巻く環境は、雇用の劣化、格差の拡大など社会の持続性の危機が深まっている。「まもる、つなぐ、創り出す」をキーワードに、「私たちが未来を変える」私たちの行動で、未来を変えていきたい、③二大政党運営を理想とする現在、野党が大きな塊をつくることは重要である。次期衆議院議員選挙に向けた備えは急がなければならない。政党を通じて、推薦依頼があった、1区「西岡秀子」、2区

「松平浩一」、3区「山田勝彦」、4区「末次精一」の4人について、安倍1強を倒すために、連合長崎の力を最大限発揮できる環境づくりを含めた組織内議論を開始していくと述べたうえで、激動の時代だからこそ、「助け合い、支えあい」を基本に、さまざまな活動を展開していく決意を込めたあいさつをしました。その後、多くの来賓を代表して、西岡秀子衆議院議員、中村法道長崎県知事、金成真一長崎労働局長、劉亜明中国駐長崎総領事からあいさつを受けました。

続いて恒例の鏡割り、上田順一長退連会長の音頭で乾杯が行われ、アトラクションとして4年ぶりとなる「ちんどん かわちや」の「祝い餅つき」が行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

最後に吉次博之長崎地協議長の音頭でガンバロー三唱を行い、2020年新年交歓会を終了しました。

連合長崎、連合長崎地協は、2020年も構成組織の皆様と一丸となって各種取り組みを行ってまいります。各構成組織の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



宮崎会長あいさつ



「ちんどん かわちや」による祝い餅つき



吉次長崎地協議長の音頭でガンバロー

連合長崎2020春季生活闘争討論交流集会を開催

私たちが未来を変える！ すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」 と働き方の見直しで！

1月18日(土)、ホテル矢太樓において、約100人の仲間が集まり「2020春季生活闘争討論交流集会」を開催しました。

主催者を代表して連合長崎 宮崎辰弥会長のあいさつの後、連合本部の大久保暁子 総合政策推進局労働条件局局长から「2020春季生活闘争方針」について基調講演を受けました。内容としては、①月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れをすべての労働者へ波及させていく ②賃上げの上げ幅のみならず、「働きの価値に見合った水準」を追求していく ③取引の適正化を推進し、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配の実現の3点が挙げられました。また、働き方改革関連法(時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金など)を踏まえ、法律の内容を上回る労働条件を追求しようと提起されました。

基調講演Ⅱとして、長崎県労働局雇用環境均等室の篠崎室長補佐から「働き方改革・改正労働法への対応」について講演を受け、時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金などの内容について講演をいただき、その後、連合長崎の種村副事務局長から「連合長崎の2020春季生活闘争の取り組みと2020年地域三ニマム運動」について提起を行いました。

最後に九州ろうきん長崎県本部の渡辺課長と、こくみん共済 coop 長崎支所の尾辻支所長に、人生を豊かに楽しく過ごすため、また万が一の病気や災害に対する備えのため、ろうきん・全労済をどのように活用すればよいかについて、ご講演いただいた後、二つの分散会に分かれ各組織の方針の確認、取組の報告を行いました。

集会の最後には、連合長崎 古川副事務局長がガンバロー三唱を行い、「2020春季生活闘争」の勝利へ向け参加者全員で意思統一をはかるとともに、連合長崎2020春季生活闘争のスタートを切りました。連合長崎は、「私たちが未来を変える！すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直し」の実現を推し進めていきます！

方針の提起をする
種村副事務局長



(基調講演Ⅰ)
連合本部 大久保局長



挨拶をする
連合長崎 宮崎会長



(基調講演Ⅱ)
長崎県労働局 篠崎室長補佐



「2020春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」 長崎地区街頭行動



連合長崎
宮崎会長



国民民主党長崎県連
山田代表



立憲民主党長崎県連
赤木副代表



社民党長崎県連
坂本幹事長

連合長崎と連合長崎地域協議会は、共催で3月6日（金）18時00分から長崎市「鉄橋」にて「2020春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」長崎地区街頭行動を行いました。今年は、新型コロナウイルスの拡大防止の観点から、例年の決起集会から縮小した開催の中で、構成組織、政党関係者など約50人の方々に参加いただきました。

冒頭、連合長崎宮崎辰弥会長は、「今春闘の柱は2つ。1つは賃金引き上げについて、分配構造の転換につながりえる賃上げ、もう1つは働き方改革に伴う長時間労働の是正であります。今年4月から労働時間の上限

規則が中小企業への適用、そして、同一労働同一賃金に関わる改正労働者派遣法等が施行される。働く人の命と健康は守らなければならない。時間外労働など働き方改革は、働く人ひとりだけではどうすることもできない。さまざまな枠を超えての具体化に向けた検討が必要となる。本日3月6日は、「36の日」です。時間外労働の実施は、労使で協定を結ばなければいけない。このことはあまり認知されていない。雇用する側、雇用される側の双方が知恵を出し合い、働き続けられる職場づくりを目指してほしい」と訴えました。

その後、推薦する各政党からご挨拶をいただき、連合長崎地域協議会宮本事務局長の集会行動アピールを行い、街頭行動を終了しました。

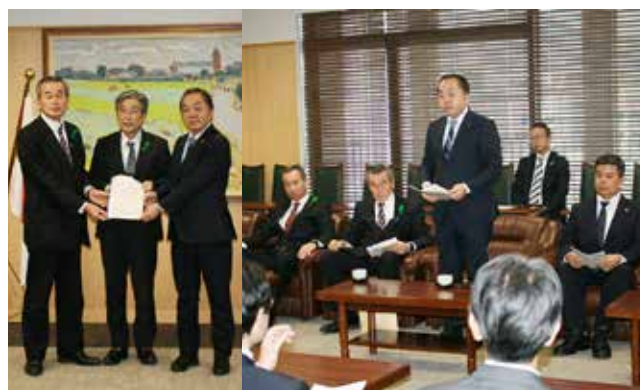
新型コロナウイルスの影響により、県内各地での決起集会も中止となったところもありますが、連合長崎、地協、構成組織が一丸となり、2020春季生活闘争勝利と政策・制度要求実現に向け、総力を結集した取り組みを進めましょう！

すべての働く者、家族の幸せのために、そしてすべての働く人たちの処遇改善につなげる「みんなの春闘」に、果敢に挑戦していこう！



新型コロナウイルス感染症対策における小中高校等の臨時休校などに関する緊急要請

3月6日12:00から長崎県庁にて「新型コロナウイルス感染症対策における小中高校等の臨時休校などに関する緊急要請」を連合長崎、県議会会派改革21との連名にて行いました。子供たちの居場所の確保など子供たちの命を守る取り組み、検査体制を含めた医療機関の体制整備と支援など県民の命を守る取り組み、中小企業等の早急な実態把握と支援策の周知徹底、中小企業を支える環境作り等中小企業等に対する効果的な支援策について、働くものの立場からさまざまな支援策の拡充と取り組みについてお願いしました。



「米軍基地の整理・縮小」と 「日米地域協定の抜本的見直し」 を実現する日出生台集会が開催されました。

1月25日(土)、連合九州ブロック連絡会・連合大分主催による『米軍基地の整理・縮小』と『日米地位協定の抜本的見直し』を実現する日出生台集会が大分県玖珠郡玖珠町(玖珠川河川敷)で開催され九州各地から4,508人が結集、連合長崎からは宮崎会長をはじめ約100名が参加しました。

大分県の日出生台演習場では、米軍が沖縄で行っていた県道104号線越えの実弾砲撃演習を本土5ヶ所に移転した1997年以降、米軍による実弾砲撃訓練が行われています。本訓練は、「沖縄と同質・同量」の負担という約束であったにもかかわらず、沖縄では実施されていなかった夜間砲撃訓練が実施されるなど、その内容が質・量ともに強化されてきており、「訓練の拡大・恒常化」「基地のばら撒き」となっています。連合九州ブロック連絡会・連合大分は1999年から日出生台集会を開催し、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求めています。

集会では、地元地協の女性委員会による「地元の想い」の訴えに続き、主催者を代表して連合九州ブロック西村代表幹事、また連合本部を代表して山本副事務局長が挨拶を行いました。続いて、半田滋氏(東京新

聞 論説兼編集委員)から、沖縄の負担軽減を目的に始まった実弾砲撃訓練は日米合意で沖縄と「同質・同量」とされていたにもかかわらず、内容が拡大していることに問題視され、今後注視し続けることが重要だと話された。

最後に、「基地を抱える地元の重圧を少しでも軽減するため」「米軍基地の整理・縮小」、そして1960年に締結されて以来、一度も見直されていない『日米地位協定』の抜本的見直しを実現するための運動を、引き続き地域や職場において全力で展開していく」とする集会宣言を採択し、連合大分佐藤会長の団結ガンバローで集会を閉会しました。



地元実行委員による「地元の思い」

挨拶をする山本副事務局長



地位協定の抜本的見直しを求めて団結ガンバロー

ワークルール検定 2020春

初級
検定

6月14日(日)

時間／9:45～

場所／佐世保市・労働福祉センター

思いよ届け! ~アジア・アフリカ支援米発送式 開催~

1月10日(金)、アジア・アフリカ支援米の発送式を長崎市役所前広場で執り行い、たくさんの皆様にお越しいただきました。今年は連合長崎各地協・ブロックで収穫したお米が1,950kg、皆様のカンパから購入したお米が1,110kg、全部で3,060kgのお米を、アフリ

カのマリ共和国・カンボジアのくっくま孤児院・長崎県内の子ども食堂(7か所)と長崎フードバンクシステムズに届けます。高宮副市長はじめ各級議員の皆様、来賓の皆様、ご参加いただきありがとうございました。



子ども食堂ネットワークに
お米を贈呈



たくさんの方に参加いただきました

波佐見町議選

よこやま まさよ

横山聖代氏 の推薦決定!

連合長崎、大東吉岐対馬地協は、波佐見町議選(10月施行予定)において横山聖代氏を推薦決定しました。9月2日には政策協定を締結し、当選を目指して頑張っていくことを三者で確認しました。波佐見町在住の知友人への呼びかけをよろしくお願いいたします。



協会けんぽ長崎支部より加入者の皆様へ、保険料率変更のご案内

令和2年3月分(4月納付分)以降

健康保険料率

10.24% → 10.22%

介護保険料率

1.73% → 1.79%

※ 任意継続被保険者の方は、令和2年4月分(4月納付分)から保険料率が変わります。
※ 40歳から64歳までの方には、健康保険料率に全国一律の介護保険料率が加わります。

都道府県支部別に「引上げ」「引下げ」「据え置き」の3種類の改定があります。当支部では、全国平均と比べて、医療費支出の伸びを抑制できたこと等から、「引下げ」になります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

加入者お一人おひとりの健康の積み重ねが
保険料率の上昇を抑える大きな力になります。



お手元の保険証をご確認ください!
協会けんぽの保険証(水色)

保険証の下、保険者名称欄に記載されている
支部名が、ご加入されている支部となります。



全国健康保険協会 長崎支部

協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

電話:095-829-6000(代表)
(受付時間/平日 8:30~17:15)

〒850-8537 長崎市大黒町 9-22 大久保大黒町ビル本館 8 階

◆詳しくは、協会けんぽHPをご確認ください。

協会けんぽ

検索

2020年連合長崎 地域協議会・ブロック連絡会議 役員紹介 (2020年3月1日現在)

地域協議会名	議 長	事務局長	書 記
長 崎 地 域 協 議 会	 吉次 博之 (基幹労連)	 宮本 晃好 (電力総連)	 草野いづみ (ユニオン)
長崎地域協議会 西彼北部ブロック連絡会議	 田川 秀光 (基幹労連)	 小嶋 隆 (自治労)	
諫早・島原地域協議会	 大木 豊 (日教組)	 入江 良美 (ユニオン)	 池田多佳子 (ユニオン)
諫早・島原地域協議会 島原ブロック連絡会議	 田尻 正行 (私鉄総連)	 本多 克己 (J P労組)	
大東・杵岐・対馬地域協議会	 田川 洋輔 (電力総連)	 川本 良美 (ユニオン)	 平地由紀子 (ユニオン)
大東・杵岐・対馬地域協議会 杵岐ブロック連絡会議	 斉藤弥寿孝 (自治労)	 酒井 真二 (自治労)	
大東・杵岐・対馬地域協議会 対馬ブロック連絡会議	 次川 久也 (J P労組)	 永留 公一 (自治労)	
佐世保地域協議会	 菊永 昌和 (自治労)	 鴨川 博明 (基幹労連)	 大田 昌枝 (ユニオン)
佐世保地域協議会 北松ブロック	 熊谷 将宏 (電力総連)	 金子 圭史 (自治労)	
五 島 地 域 協 議 会	 黒岩 康博 (自治労)	 高井良芳行 (ユニオン)	 大島 鶴恵 (ユニオン)
五島地域協議会 上五島ブロック	 伊藤 正義 (自治労)	 松岡 貢 (自治労)	

地協のニュースも連合長崎のホームページに掲載をしています。
ぜひ、各地協の活動に注目ください！

連合速報へのご意見・ご感想はこちらまで → terumiya@nagasaki.jtuc-rengo.jp